

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和4年10月26日(2022.10.26)

【公開番号】特開2021-65655(P2021-65655A)

【公開日】令和3年4月30日(2021.4.30)

【年通号数】公開・登録公報2021-020

【出願番号】特願2019-195646(P2019-195646)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 1 5 A

【手続補正書】

【提出日】令和4年10月18日(2022.10.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 2

【補正方法】変更

20

【補正の内容】

【0 0 0 2】

疑似連図柄が仮停止するか否かを煽ることで疑似連演出の実行を予告(実行する可能性があることを予告)し、疑似連図柄の仮停止により疑似連演出の実行を示唆する示唆演出をおこなう遊技機がある。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 3

【補正方法】変更

30

【補正の内容】

【0 0 0 3】

【特許文献1】特開2017-18653号公報

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 4】

しかしながら、上述した遊技機は、示唆演出のバリエーションが乏しいため、演出がマンネリ化してしまい、十分な興趣の向上が果たせない場合がある。

1つの側面では、本発明は、遊技の興趣を高めることができる遊技機を提供することを目的とする。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 5】

上記目的を達成するために、以下に示すような、予告演出を実行可能な予告演出手段と、予告演出の実行を示唆する示唆演出を実行可能な示唆演出手段と、示唆演出と重複する

40

期間で特定演出を実行可能な特定演出手段と、を含む遊技機が提供される。示唆演出は、特定の演出態様となることで予告演出の実行を示唆可能であり、特定演出と重複して実行する示唆演出が特定の演出態様となる確率は、特定演出と重複せずに実行する示唆演出が特定の演出態様となる確率よりも高い。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正6】

10

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

予告演出を実行可能な予告演出手段と、

前記予告演出の実行を示唆する示唆演出を実行可能な示唆演出手段と、

前記示唆演出と重複する期間で特定演出を実行可能な特定演出手段と、

を含み、

20

前記示唆演出は、特定の演出態様となることで前記予告演出の実行を示唆可能であり、

前記特定演出と重複して実行する前記示唆演出が前記特定の演出態様となる確率は、前記特定演出と重複せずに実行する前記示唆演出が前記特定の演出態様となる確率よりも高

い、

遊技機。

30

40

50